

# 敗者からの日本史

～NHKの大河ドラマ“八重の桜”や白虎隊など  
幕末・維新における会津藩の悲史を中心に～

- ◇講師 原 一 夫 氏 (はら かずお)
- ◇日時 平成26年2月5日(水) 午後2時～4時
- ◇会場 かでる2・7ビル5階 520 研修室  
(札幌市中央区北2条西7丁目)



—鶴ヶ城—

## 《要 旨》

歴史は勝者が書きそれが正史とされがちであるが、一方、敗者にも敗者なりの立場や言い分があり、それらを複眼的に考えることによって、歴史解釈が厚味と正鵠を得るものと思う。

勝者と敗者がせめぎ合った源平、南北朝、戦国、幕末など日本史の動乱時代の中から今回は比較的新しい幕末期において敗者となった会津藩の破滅の悲史を取り上げることとする。

もともと日本人は判官びいきとか亡びの美学といった敗者へのいたわりの心情があり、それに根ざす物語や歌なども多く、時間があればそれらも少々紹介したい。

## 《プロフィール》

- ・S19年～S34年 十勝管内で小、中、高校の教員（主として国語科、社会科）
- ・S34年～S57年 北海道教育庁勤務（指導主事10年、行政職14年）
- ・S58年～S62年 北海道高等盲学校長（昭和62年3月定年退職）
- ・S62年～現在 学校法人北海学園で職員・役員として現在に至る

- 《主な著書》 「教職員の服務」（共著、代表）、「新しい教育課程の編成」（共著、代表）  
「教育随想“道”」（単著）、「教育改革提言～21世紀の日本の再建のために」（共著）

- 受講料 700円（保護協会会員500円）
- 申込方法 電話・FAX・メールで事前申込が必要 定員90名（定員になり次第締切）
- 申込先 北海道文化財保護協会事務局
- 電話・FAX 011-271-4220
- Eメール bunho@abelia.ocn.ne.jp

主催 北海道文化財保護協会

